

石田裕一



上越市議会市政レポート／No.4
平成27年8月発行

本会議場にて“一般質問”



上越市議会“本会議場”現在31名(欠員1名)

〔1〕上越市議会は議員発議による「**条例**」制定に努めています。

この度上越市議会では、近年全国的に問題となっている、老朽化した“**空き家**”の放置に対して、倒壊の危険など、周囲に悪影響を及ぼす恐れがあることから、議員発議により条例を制定しました。

(※平成24年から総務委員会、平成26年からは政策形成会議において条例制定に向けて研究を重ね、平成27年3月定例会で可決され、3年以上の歳月をかけて平成27年7月1日に施行しました)

◆「上越市空き家等適正管理及び活用促進に関する条例」(施行日:平成27年7月1日)

(目的) 空き家等の適切な管理及び活用促進を図るため、市及び所有者等の責務を明らかにするとともに、空き家等対策推進に関する特別措置法(平成26年法律第127号)第4条の規定に基づく空き家等に関する対策の実施その他空き家等に関する措置について、必要な事項を定めることにより、防災、防犯、衛生、景観等の市民の生活環境を保全し、もっと魅力あるまちづくりの推進に寄与すること。



「特定空き家等」政策形成会議

●その他に議員発議で制定された条例

◆「上越市地酒で乾杯を推進する条例」(施行日:平成26年9月29日)

(目的) 当市の伝統産品である地酒による乾杯の習慣を広めることにより、郷土愛の醸成を図り、もって地酒による乾杯の普及を通じた伝統文化への理解の促進に寄与すること。

◆「中山間地域振興条例」(施行日:平成23年6月24日)

(目的) 中山間地域の振興について基本理念を定め、並びに市の責務及び市民の役割を明らかにするとともに、中山間地域の振興に関する施策の基本となる事項を定めることにより中山間地域の振興を総合的に推進し、もって市民が安全に安心して住み続けることができる地域社会の実現を図ること

◆「上越市議会基本条例」(施行日:平成22年11月1日)

※「条例を検証、見直し、一部改正しました」(施行日:平成25年6月19日)

(目的) 市議会及び市議会議員の活動原則等の基本的事項を定めることにより、議会の活性化を図り、もっと議会が市民の信託に応え、市民の福祉の向上及び民主的な市政の発展のに寄与すること。

「市長村議会議員研修」に参加 (平成27年7月29～31日、滋賀県大津市・全国文化国際研究所にて)

(内容)「政策実現のための政策法務 ～政策実現のための条例提案に向けて～」
議員には、政策実現のための条例提案能力も求められています。
3日間の研修でしたが、実際「住民参加条例」について条例立案の演習を体験してきました。それを今後の活動に活かしていきます。



〔2〕“一般質問”に取り組んでいます！（村山市政へ質問を投げかけました）

＊平成27年度6月定例議会(6/4～6/18)が開かれ、平成27年度一般会計補正予算等を審議しました。
(詳細は8月1日発刊<No.185>の「じょうえつ市議会だより」をご覧ください。)

【今回、平成27年6月定例議会での一般質問】 ＊〔平成27年6月12日〕

「サッカー場建設や芝グラウンドの整備について」 他……………(市議会だよりNo.185)

(問) 大規模大会を開催するサッカー場がない為、新たに建設する考えはないか。
人工芝グラウンド(くびき)、天然芝グラウンド(多目的広場)の整備の考えは。

市の答弁は、サッカー場は現在充分であるとの答弁でした。

私は芝グラウンドの普及を望んでいるため、まだまだサッカーへの認識の低さ、
市との考えの相違がありますが、今後も粘り強く声をだしていきます。



(問) スポーツで地域コミュニケーション活性化を図り、総合型地域スポーツクラブ
等の支援をする考えはないか。

(問) 近年低投票率が続いているが、選挙の投票率向上に向けた現在の当市の取組
み状況と今後の対策を聞きたい。

市では将来の有権者となる子供への啓発や特定地区に絞った啓発等を行って
きた。今後は選挙年齢が18歳に引き下げになることから、モデル的に高校生
に重点を置いた啓発も行っていく。



【過去の一般質問】 ◆平成27年3月定例議会 ＊〔平成27年3月19日〕

「災害時の各種団体との応援協定について」 他……………(市議会だよりNo.184)

(問) 現在提携している協定は実行性があるものか。更に拡充の考えと、なぜ市外の企業と締結しているのか。

毎年相互に内容を確認し、物資や技術の提供体制を維持・継続している。
今後も市内・市外から応援協定を推進する。

(問) 信越トレイルの積極的な活用について北陸新幹線開業を好機にPRを強化し
峠道の歴史を、郷土愛を育む教材に活かせないか。

市でもパンフレットを増刷し、“上越妙高駅”で映像を流すなどPRに努める。
教育活動にも有効と考え、学校にも働きかける。



【過去の一般質問】 ◆平成26年12月定例議会 ＊〔平成26年12月10日〕

「障がいのある人への将来を見据えた支援を」……………(市議会だよりNo.183)

(問) 平成26年度末までに利用者全員の障がい者福祉サービス等の利用計画を作成する義務は達成できるのか。
現在の進捗状況はどうか。

(問) 障がいのある人が家族を亡くした場合、その後の施設入居等の具体的な支援策はどうか。

(問) 単身生活を希望する障がいのある人には、食事等の支援を受けながら単身
生活ができるサテライト型住居の設置が有効と考えるがどうか。

(問) 施設入所者が65歳を迎えた場合、介護保険制度を利用し、特別養護老人
ホーム等に入所するのが本来のあり方だが、当市の現状はどうか。

福祉サービスに影響がないように、利用計画は平成26年度内には完了する。
グループホームなど、障がいのある人の希望に沿った生活の場が確保されるよ
うに努める。サテライト型住居は今後研究する。介護保険の適用除外からの入居手続きも可能になる。



※市長答弁は「市議会だより」または「市議会ホームページ」をご覧ください。

〔3〕視察報告(所属:建設企業常任委員会) & 研修会参加報告

平成27年度・建設企業常任委員会・行政視察(平成27年7月8日～10日・2泊3日)

①平成27年7月8日(火)・視察先:香川県三木町

〔視察内容〕「空き家の利活用による移住・定住促進について」

三木町では移住・定住促進は単独での事業でなく、空き家対策と一体として取り組みを行い、さらに移住・定住を進めるためには雇用の支援が必要で、さらに子育て支援も大切な事だと考え、中学生まで医療費は“無料”など、力を入れて取り組んでいる。現在、埼玉県と大阪府から2組の移住が実現し、人口減少問題にもあわせて取組んでいる。



三木町「まんてか」子供課
(まるごと支援する課)



三木町庁舎内にて



三木町職員に質問

②平成27年7月9日(水)・視察先:愛媛県新居浜市

〔視察内容〕「新居浜駅前土地区画整理事業及び駅周辺整備事業について」

新居浜市は、「もっと素敵なまちへ」をコンセプトに駅前の土地区画整理事業を進めてきた。昭和49年に事業はスタートしたが、住民の理解が得られず一時中断したが、「やはりやろう」と基本構想を再開し今回整備が完成した。最後は反対していた住民も職員の情熱に負けたが、土地区画整備には長い月日と住民の理解と協力が必要である。



新居浜駅前「総合文化施設」
「あかがねミュージアム」OPEN



“新居浜駅前”は統一された景観に



新居浜市庁舎内にて

③平成27年7月10日(木)・視察先:愛媛県松山市

〔視察内容〕「みんなで歩いて暮らせるまちづくり(街路整備について)」

松山市でも、今まで都市に人口流入、自動車社会への対応で市街地では車中心の道路整備を進めてきた。それが、人口減少社会、少子高齢化、中心市街地の空洞化など都市が縮小する時代が進んできた背景から、現在は「都市機能の集約・コンパクトなまち」、「歩行者、自転車が中心の道路・公共交通の利便性」を考えた「みんなが歩いて暮らせるまちづくり」を進めている。



松山城入口
“ロープウェイ通り”整備完了



松山市庁舎内にて



建設企業常任委員会 視察終了
(松山市役所前にて)

※視察を終えて、どの市も上越市と規模は違いますが、当市の「空き家の利活用」や「道路整備」に活かしていきます。

第7回日本自治創造学会 研究大会／〔個人参加〕(平成27年5月28日～29日・1泊2日)

1日目

- 地方議会の挑戦—評価と課題—
- 人口減少を克服する議会の知恵
- 地方財政を取り巻く医療・介護の動向—地域医療構想と介護保険制度改革—
- 高齢社会を乗り越える地域協働

2日目

- 雇用を拡大する地方の知恵—地方創生特区(国家戦略特区の二次指定)—
- 市民提案を生かす地方議会の知恵—生き残りをかける議会の改革能力—
- 地方創生は国の役割か(コンパクトシティのあり方を含めて)



会場は明治大学



ホール内で研修中

※初めて「上越妙高駅」から「北陸新幹線」に乗り東京へ行ってきました。

〔4〕地域レポート



上越市合併10周年記念式典

平成27年4月29日



やすづか学園創立20周年記念式典

平成27年7月19日



大浦安げんき市

平成27年8月15日



ほくほく線“虫川大杉駅”で開催

〔5〕活動報告 ※上越市の行事等に参加しました。



活動報告①「上越市議会・見学」を実施

平成26年度は、浦川原区・中保倉小学校の総合学習の一貫で、5・6年生が上越市議会に見学、傍聴に来てくれました。子どもたちは緊張していましたが、肌で議会を感じてくれました。平成27年度から市議会では「子ども議会」の開催にむけて取り組みます。

佐藤議長と意見交換▶



活動報告②「長野・上越(両)市議会交流会」

平成27年度は、“善光寺の御開帳”にあわせて4月24日に“長野市議会”との交流会がありました。

“北陸新幹線”の開業で益々近くなった長野市との交流を通して、今後も両市議会が発展していくことを願います。とても良い交流会でした。

南長野運動公園・スタジアム視察▶



活動報告③「高田城ロードレース」に参加

平成27年6月7日、祝・北陸新幹線“上越妙高駅開業記念”「高田城ロードレース大会」に参加しました。今回は初めて“ハーフ(21km)”に挑戦。当日は快晴、天候に恵まれましたが、暑さとの戦いでなんとか完走できました。これからも自分自身で健康に意識をもって取り組んでいきます。



活動報告④「上越まつり」に参加

平成27年7月23日「高田地区・民謡流し」と平成27年7月28日「直江津地区・民謡流し」に、今年で4年連続の参加で、浴衣を着て皆さんと楽しく踊れるようになりました。これからも市議会としていろいろな行事に参加していきます。

同僚の小林和孝議員と一緒に▶



私の思い

いよいよ市議会議員一期目のラストスパートです。この4年間は、市町村合併から10年など、たくさんの節目の中で活動してきました。今後益々、上越市は大きな問題に立ち向かっていくことでしょう。

浦川原区では3小学校が平成29年4月からの統合に向けて検討に入りました。今後“人口減少・少子高齢化”“公の施設の再配置”など、厳しい時代がやってきます。これからも地域の代表として、しっかり活動していきますので、皆様のご意見をお聞かせください。(文責:石田裕一)

発行

上越市議会議員 石田裕一

上越市議会市政レポートNo.4

平成27年8月発行

住所

〒942-0314 上越市浦川原区顕聖寺80-30 TEL・FAX.025-599-3808

E-mail u1_ishida160-2@at.wakwak.com ホームページ <http://park3.wakwak.com/~u1-ishida/>

※皆様のご感想、ご意見をお寄せください。「ゆうちゃんの天天向上」ブログも更新中ご覧ください。